買切案内　**2023年1月18日オンデマンド化**　**日本キリスト教団出版局**

慰めのコイノーニア

牧師と信徒が共に学ぶ牧会学

加藤常昭（かとうつねあき）**著**

1929年、旧満州ハルピンに生まれる。東京高等師範学校付属中学、旧制第一高等学校、東京大学文学部哲学科、東京神学大学博士課程前期課程修了。日本基督教団若草教会、牛込払方町教会、鎌倉雪ノ下教会にて主任担任教師。現在、同教団隠退教師。牧会の傍ら、東京神学大学で実践神学を教え、再三、ドイツに研究滞在、ハイデルベルク大学客員教授（1986-87）、国際説教学会会長（1995-97）。現在、説教塾主宰として、説教者の研修指導に励んでいる。

「慰めに生きるコイノーニア（交わり）」としての教会の本質を見つめ直す。教会が「魂への配慮」を互いに行う共同体であるために、隣人に対する配慮とは何か、聖書をはじめ古今東西の魂の配慮者たちの事例を挙げつつ、著者自身の真摯な体験が語られる。

四六判・並製・244頁・定価3,520円（本体3,200円＋税）

ISBN978-4-8184-5133-9　C0016

目次

第1章　慰めのコイノーニア（交わり）・教会
第2章　慰めの諸相
第3章　ハイデルベルク信仰問答に聴く
第4章　慰めの対話
第5章　何を語り合うのか　その一
第6章　天国の鍵
第7章　何を語り合うのか　その二
第8章　主イエスを愛する群れを
第9章　慰めの言葉を求めて
第10章　嘆きの声を挙げる教会
第11章　九日間の祈り
第12章　クリストクラシー
第13章　足腰の強い慰めを
第14章　名札をつけて
第15章　扉を開いて

オンデマンド版にて復刊！